

新井 6分42秒遅れの4番手発進

第20回アジアクロスカントリー

フリー(AXCCR)2011

5 レグ1 9日 チエンマ

イー・ムーホーソン(タイ)

ペン&カメラ 古賀敬介

ぬかるみ、急勾配に苦戦

前回覇者のヌタポン・アング

リットハノン組(いすゞD-M

AX)が1時間25分1秒で4輪

クラスの首位に立った。日本勢

は元プロダクションカー世界ラ

リー選手権王者の新井敏弘組

(同)が6分42秒遅れの4番

手、車いすドライバーの青木拓

磨組(いすゞMux)が6分

53秒遅れの5番手につけた。

初日から波乱の展開。競技区

間(SS)スタート6km地点で

一般車両のトラックがスタック

して道をふさぎ、約176kmを

予定していたSSの前半部分が

キャンセルになった。さらに前

日までの雨で森の中を走る道は

ぬかるみ、急勾配もあって参加

者を苦しめた。

三菱アウトランダーPHEV

で3年目の参戦となる青木孝次

組は、マシンの制御系トラブル

が発生し、難所のひとつの25m

にも及ぶ川渡りを終えたところ

でスタック。だが、後続の新井

がバンパーで押して窮地を脱す

る場面も。

初挑戦のダカールラリー元王



◆アジアクロスカントリーラリー4輪部門◆

(8月9日/レグ1/381km)

順	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリットハ	いすゞD-MAX	1時間25分01秒
2	P・タマシリクン	いすゞD-MAX	4分32秒
3	W・チョティラビー	いすゞD-MAX	4分59秒
4	新井 敏弘	いすゞD-MAX	6分42秒
5	青木 拓磨	いすゞMux	6分53秒
10	伊藤 芳朗	いすゞD-MAX	10分58秒
11	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	10分59秒
15	浅井 道浩	三菱パジェロ・エボ	13分21秒
16	塙 郁夫	トヨタJクルーザー	16分23秒
17	青木 孝次	三菱アウトランダー	17分56秒

大きな川をまるで泳ぐように走行する青木拓磨のいすゞMux

者の篠塚建次郎組(スズキ・ジ

ムニー)は11番手発進。「上り

坂が多く大変だったけど、やっ

ぱりラリーレイドは楽しいね」

と目を輝かせていた。